

当社が保有する戸田寮で、建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS^(注7)) にて、「ZEB Ready」の評価を得ました。

(注7) BELS (Building-Housing Energy-efficiency Labeling System) とは、国土交通省が定めた評価基準に基づいて第三者機関が建築物の省エネルギー性能を評価する制度です。

ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) は、快適な室内環境を保ちつつ、建物の高断熱化や効率の高い設備等により省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物のことです。BELS の評価制度において、ZEB の評価は「ZEB」(最高評価)、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented の4段階で表されます



環境に配慮したオフィスビルの取組み

気候変動 (オゾン層の破壊) に影響を及ぼすフロン類の大気中放出を抑制するため、所有設備 (業務用空調機、ターボ式冷凍機など) の定期点検や設備補改修などにより対策を講じています。

また、使用する冷媒種は、温室効果の逡減やオゾン層の破壊抑制につながる、環境に優しい冷媒への切り替えを、漸次、行なっています。

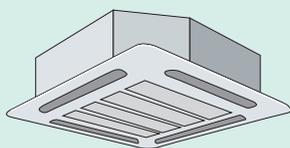
全設備の総算定漏えい量の状況 (「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき算出)^(注8)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
算定漏えい量 (t-CO ₂) ^(注9)	1,021	1,052	1,031	1,450	1,897	893

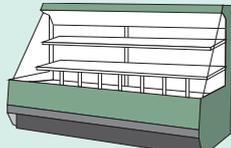
(注8) 2023年7月1日現在確定している2021年度実績値までを掲載

(注9) 所有台数にかかわらず、事業者単位で年間算定漏えい量が1,000t-CO₂以上の場合、事業を所管する大臣に報告が必要

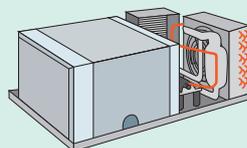
当社で取り扱う対象設備



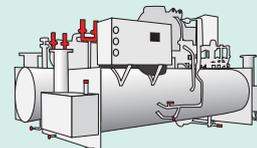
業務用空調機器



冷凍冷蔵ショーケース



定置型冷凍冷蔵ユニット



ターボ式冷凍機

等

環境に配慮した社用リース車両の導入

世界的な温室効果ガスの排出削減の動きを受け、2021年4月から、全国の営業組織で使用している車両をハイブリッドの車両に順次切り替えを進めています。

また、現在使用しているハイブリッドの車両についても

リース期間更新時に、より環境性能の高い車種へ見直すことを予定しており、すでに水素燃料電池自動車も2台導入しています。

環境配慮型商品の購入

本社・支社および営業所等で使用する事務用品については、エコマーク商品、グリーン購入ネットワーク (GPN) 掲載商品、グリーン購入法適合商品、FSC認証商品などの環境配慮型商品を優先的に購入できるシステムを導入しています。2022年度における環境配慮型商品の購入率は金額ベースで73.6%となっています。今後も同システムの活用を通じて、環境配慮型商品の購入を進めていきます。

廃棄物の分別・リサイクル

本社がある明治安田生命ビルの各階に専用リサイクルボックスを設置するなど、廃棄物の分別回収やリサイクルに積極的に取り組んでおり、2022年度のリサイクル率は82.9%となっています。



リサイクルボックス